



静岡県立沼津商業高等学校同窓会  
〒411-0917  
静岡県駿東郡清水町徳倉1205  
TEL 055-932-5747 (FAX共用)

同窓会会長就任挨拶



会長  
宇佐美文男  
(高一五回)

皆さん今日は、百十三年の歴史を誇る静岡県立沼津商業高等学校同窓会第一八代会長に就任致しました宇佐美文男です。よろしくお願ひします。私は高校一五回の卒業生(昭和三八年卒)です。出身クラブは弓道部、職業は税理士、住まいは沼津聖隷病院の近くです。私にとって母校沼商は人生の原点と思っています。沼商で簿記に出会えなかったら今の私の人生はありません。私の人生を導いてくれた沼商には本当に感謝です。今こそ私も何か役に立ちたいと同窓会会長を引き受ける事にしました。「同窓会活動ってどんなことをするの」って時々聞かれます。皆さんが想像している以上に相当多岐にわたっています。毎年の同窓会総会の実行運営は勿論、毎月会長・副会長・女性役員合同会議

(今期から理事会という名称に変わります。)を開いています。そして年二回の常任幹事会の開催、同窓会への意見や提案の収集、育英基金の運営、学校行事への協力、各支部あるいは各OB会との連携、対外的奉仕活動への参加、同窓会誌「丸子の杜」の発行等々かなり広範囲にわたっています。そんな同窓会活動は代々の役員の皆様が守り育ててこられました。私も会員のみなさんのご協力をいただいて、精一杯頑張るつもりです。でよろしくお願ひします。

さて、平成二三年三月一日にはあの東日本大震災がありました。これを機に多くの人の人生観が変わったといえます。人と人との絆の大切さに改めて気づき、絆を求める思いが一気にわき上がったのでしょうか。

同窓会はまだにこの絆です。私も沼商を卒業し、名古屋へ行き、東京へも行きました。故郷を離れて新しい世界で無我夢中で働いたり学んだりしていた時、ふと頭をよぎるのは、故郷や家族のこと、そして友達のことでした。み

んなどうしているかなあ、元気であるかなあ、すぐにでも会いたいという気持ちがありました。しかしそう都合よくは行きません。仕方なく誰か同窓会を開いてくれないかなあと願ったものです。そんな時同窓会が何時でも門戸を開いていて、これに参加し、懐かしい顔に出会うことができたら何と良いことだと思いませんか。浮世世間を離れた他愛のない話で本心に盛り上がります。

同窓会には全体同窓会があります。各地域に設けられた支部同窓会もあります。勿論クラブOB会、各学年の同期会があり、クラス会もあります。さらに同窓生で構成された同好会もあります。どのどんな同窓会でも良いのです。兎にも角にも一度同窓会に参加をしてください。心も落ち着き、違った世界を見つけることができます。

団体からの逃避、孤立することが自由だと勘違いしている人が増えているといえます。団体に属していると何か縛られていると感じているようです。人間一人では生きて行くことはできません。自分の意志にかかわり無く誰かを支え、誰かに支えられながら生きていくものです。孤立からはなにも生みだせません。

そんな同窓会のため一生懸命、会長を勤めさせて頂きますので皆さんのご指導、ご協力をよろしくお願ひします。

第八〇回総会・懇親会は  
平成二五年七月二〇日です。

平成二四年一月の総会で会則が改正され、例年、一月に行っていた総会と懇親会の開催日を変更されました。それにより第六〇回総会と懇親会は平成二五年七月二〇日(土)開催となります。例年左記の通り行っていますが、まだ検討中の部分もあります。詳細は次号にてご案内いたします。

記

日時 平成二五年七月二〇日(土)  
場所 沼津キャッスルホテル  
受付 一二時三〇分より  
総会 一三時三〇分より  
講演会 一四時四〇分より  
講演会、講師等は検討中です。  
懇親会 一六時〜十八時  
会費 従前は七〇〇〇円(但し、事前振込の場合は六五〇〇円)  
この同窓会は高二三回生が幹事を担当。詳細は総会幹事の赤井国彦さん(〇五五九六一二四一三 但し日曜を除く昼間)まで。

年会費納入にご協力を

沼商同窓会のみなさんの会費により運営されています。毎年の年会費納入ご協力には心より感謝申し上げます。年会費は同窓会の運営や在校生の教育環境の改善、学業支援などに充てられます。今年も年会費(複数口)納入にご協力下さい。

「丸子の杜」…1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

## 私の思い ラグビー部復活の願い



渡邊 恭男  
(高五回)

歴史と伝統という財産は、引き継いで、それを続けていくことに意味があると思います。

延暦寺の高僧で浄土宗の開祖、法然上人いわく「学問はいらぬ、愚かにかえれ」と念仏の中で説いています。つまり人として、人に戻れということだろうと思います。人間形成に最も大事な時期である青春時代に人生のルール、マナーとして協調精神、連帯感、団結力などを強く体感できるのは、ラグビーというスポーツを通じて  
one for all, all for one

(二人が皆んなの為に)

皆んなが一人の為に)のラグビースピリッツこそが大切な人間の感性及び情生に不可欠なメンタル教育だと思います。

我が沼商ラグビー部OBの皆さんは、ラグビーから学んだ得難い財産を作り、それを誇りと自信、そして汗の臭いや味をそれぞれの人生の中において生かしていると思います。

悲しいというか、淋しいというか今ラグビー部OBの皆さんは母校にその財産が無くなっていく状況なので一種の虚無感と云う心境

に陥っていると思います。

歴史と伝統という財産は残してこそ後世に引き継いで行くものですが、その財産が残っていないければ人は寄ってきません。

「よい鳥はよい木を選んで巣を作る」といいます。

もし男子の部活動復活が無理なら、せめて女子のラグビー部を創設してほしいと希うものです。

七人制の女子ラグビーが五年後のリオデジャネイロ五輪から正式競技種目に採用されます。サッカーの「なでしこジャパン」が脚光を浴びている今、次はラグビーの「なでしこジャパン」を目指して県内でトップを切って創部されることを強く強く望んで止みません。私はラグビー部OBで、現在七歳の喜寿です。人生は思い出づくりの旅といえます。

青春時代、熱き情熱をぶつけ合い、苦楽を共にした友人は、私の人生に於いて大切な宝であり、そして来世までもきつと想い出という宝として続くであろうと確信しております。

どうぞ学校関係者は勿論、ラグビー部OBの皆さん、もう一度ラグビー部復活を真剣に考えていただけませんか。女子だから無理とゆうことはありません。ルールも女子にあったものになっているはずです。

沼商ラグビー部の歴史と伝統を甦らせる為にも一考を要するものと強く思う次第であります。

## チャレンジ



島田 莉帆  
(高六二回)

早いもので、私が沼商を卒業してから二年が経ちました。高校在学中、私は、進路についてとても悩み、就職、専門学校、大学を考えた末、卒業間際に大学進学を決めました。ここから私の新たな生活が始まったのです。卒業式が終わり、アルバイトと受験勉強のスタートです。今まで、進学に向けた勉強などしたことがなかった私にとって、どのように勉強していけば良いのか全く分からず、試行錯誤の毎日でした。図書館に通い、同じように受験勉強している人達と友人になりました。その友人達から勉強方法など、多くのことを学びました。予備校の講習にも参加しましたが、費用もかなりかかる上、自分には合っていないような気がして、自分で勉強しようと思いましたが、一年目、気持ちが焦り、失敗したらどうしようと思われ、母が一言「たった一年で合格できたら奇跡でしょ」と。二〇歳までに自分の進路を決めたいと思っていた私は、この母の一言で精神的にすごく楽になりました。予想通り、一年目の挑戦は失敗に終わりました。その上、体調を

崩してしまい、反省だらけの一年となってしまいました。二年目、自分なりの勉強方法も見つかり、夏までアルバイトを続け、半年間、真剣に勉強に取り組みました。今年一月、成人式を迎えましたが、式に参加したい気持ちはあったのですが、絶対に後悔したくないという強い思いから、参加を断念しました。昨年と同じ失敗を繰り返さないように体調管理に気を付け、二月の本番に臨みました。合格発表の日、ドキドキしながら、携帯電話に自分の受験番号を入力すると、「合格」の文字が目飛び込んできました。あの時の気持ちは、今でも忘れることが出来ません。

四月三日、私は法政大学の経営学部に入学しました。今は沼商で取得した資格を生かせるよう、公認会計士を目指して大学生活を送っています。この二年間を振り返ると、一人だけで頑張れたわけではありません。友人のサポート、家族の理解、私のことを知った沼商OBの中島恵子さんからは、学業のお守りをいただきました。卒業しても応援してくださいと沼商担任の山口成人先生、様々な方々のおかげと思っています。少し回り道をしたかも知れませんが、この二年間を決して無駄にすることのないよう、これから四年間、次の目標に向かって学生生活を過ごして行きたいと思えます。

## 振り返って



青野 楓

(高六三回)

沼商を卒業してもうすぐ、一年が経とうとしています。高校生活を振り返ってみると、楽しかったことも辛かったことも嬉しかったことも悔しかったこともいっぱいあり、有意義な三年間だったと思います。特にその大半を占めた部活は本当に大きいものでした。

いくつもある部活の中から、ホッケーのルールも知らないままホッケー部を選びました。試合や練習を重ね、ルールを少しずつ覚えていき、暑い夏は肌を真っ黒にしなから、冬は手がかじかむ中みんなと必死に練習に打ち込んできました。先輩が引退するとその存在を実感する毎日で不安ばかりでした。そんな中、副部长になり、上立つ人の大変さ、難しさを日々感じていました。ただ、同じように悩み苦しんでいた仲間を目の前にしてもうどうすることもできず、本当に副部长でいいのか、もう辞めてしまいたいと思うこともありました。

毎日の練習はメニューを変えたり増やしたり、あちこちに遠征し試合を重ね、どうしたら勝てるかみんなで何回も話し合い、沖縄で

の全国大会に行くために、何度もぶつかり合いました。

私は任されたポジションもうまくこなせず、朝練や居残り練習で頑張りましたが、なかなか結果が出ずとても苦しい思いをしました。

限界を感じた時も「後悔しても遅い。後悔を取り戻す時間なんてない。」という言葉に背中を押され、続けると決めました。

全国大会を目指した最後の大会は枠が二枠だったため、一回勝てば出場できると、いままでの辛い試練をバネにして試合に臨みました。

私たちが一点先取して前半戦を終え、残り一分を切った時、相手チームに一点入れられてしまいました。得失点で惜しくも全国大会をのがしてしまいました。それでもホッケーをやめることなく引退までやってこれました。



この辛く苦しく悔しい思いは社会人となった今、これからの自分の糧になると思っています。社会に出て厳しさを知り、くじけそうになることも多々ありましたが、沼商時代の経験を生かして、頑張っていきたいです。また、同じ辛いことを乗り越えてきた仲間には感謝しています。ありがとうございます。

私はありがとうの言葉でいっぱいです。一生の仲間に出会えたこと、諦めずに努力すること、やりたいことに夢中にできたこと、沼商にたくさんの感謝があります。まず私は三年間吹奏楽をやっていました。人数の多い部活でもあり、人間関係、精神的、体力的に簡単なことではありませんでした。多くの衝突もあり、部活を辞めようと思った時期もありました。しかし部員全員で演奏することが本当に楽しくて、どんな時間よりも一緒にいた仲間がいたから最後までやることができました。嬉しい涙、悲しい涙、それぞれ一生の思い出となっています。誰一人欠けてはいけない、一人ひとりが大事な仲間です。

## 一八分の三年間



佐藤 仁美

(高六三回)

最後の演奏会で多くの友達が声を揃え名前を呼んで「おつかれさま！」といってくれたこの時の一言は私にとって大きいもので一生忘れません。自分が楽しく夢中になって部活ができたこと、そして日常生活でも毎日笑顔で楽しく辛い時を乗り越えることができたのは支えてくれた両親や先生、先輩、

常にお客様と接する職場であり、失敗もたくさんありました。しかし失敗はつきものですね。次に同じ失敗をしないことが大切です。自分が受付処理をし、お客様に「ありがとうございます」と言われた時、とても温かい気持ちになりました。

まだまだ学ぶことはたくさんあります。試験も沼商と同じようにたくさんあります。これは努力して合格できる喜びを沼商で味わったからこそ今努力できています。私は今、目標とする先輩を見つけてあげることができました。少しでも近づけるよう日々努力しています。

私は今、目標とする先輩を見つけてあげることができました。少しでも近づけるよう日々努力しています。



マイライフ

### 武士の鑑 山岡鉄舟



加藤靖雄  
(高一〇回)

二〇代の折清水次郎長の菩提寺梅蔭寺で『精神満腹』と書かれた



鉄舟が次郎長に与えた扁額

扁額に出会  
い、その力  
強い迫力に  
強く胸を打  
たれました。  
上の扁額が  
鉄舟が次郎  
長に与えた  
もので、次  
郎長は山岡  
先生から度  
胸免状をも  
らったと大  
変喜んでい  
たと伝えら  
れています。

以来今日まで至誠一貫・言行一致・剣・禅・書の奥義を極めた人生にすっかり魅了され今日に至っています。

書物や資料を探し、足跡を訪ね、屏風、扁額、掛け軸などを求めて、熱病覚め遣らぬ今日ですが、次郎長や伊豆の長八との親交、義弟による相良油田の開発、門弟による

牧の原の開墾など静岡県とも深い関わりがあります。また自らも副知事に当たる役職に就き二年ほど静岡市に居住していました。

山岡鉄太郎 幕末三舟の一人、姓は藤原、名は高歩鉄舟と号し、父は飛騨郡代小野朝右衛門、天保七年(一八三六)江戸の生まれです。



山岡鉄舟像

父の任地飛騨高山にて少年期を過ごし、九歳にして剣の道を志し、久須美閑適齋に眞影流を学び、書は一五歳の時岩佐一亭から弘法大師入木道五二世の道統を受け一楽齋と号しています。

嘉永五年(一八五二)父朝右衛門死去。その後、鉄舟は江戸に戻り、剣の道を極めるべく井上清虎の門に入り北辰一刀流を学び、槍術は山岡静山について忍心流を学びました。

安政二年(一八五五)師山岡静山の急死にともない望まれて、静山の妹英子と結婚山岡姓を名乗ります。剣の道は一刀流の正伝を極めるため浅井又七郎義明に随学十数年、明治十三年(一八八〇)三月三〇日払暁無想剣の極所を得て同年四月無刀流の開祖となりました。禅学は武州柴村(川口市)長徳

寺願翁・豆州澤地村(三島市)龍澤寺星定・京都相国寺独園、同嵯峨天龍寺滴水・鎌倉円覚寺洪川など当代の高僧に参じ、終に天龍寺滴水より印可を受けています。

慶応四年(一八六八)三月五日十五代將軍徳川慶喜の命を受け、名代として慶喜討伐軍(官軍)支配下の東海道を、薩摩藩士益満休之助とともに駿府(静岡市)の官軍大総督府に向かいました。

官軍陣営に赴くと鉄舟は、「朝敵徳川慶喜家来山岡鉄太郎まかり通る」と動ずることなく名乗ります。そして大総督府で参謀の西郷隆盛と会見し、主君慶喜が朝廷に対して心から恭順の意を表していることを伝え「同胞相争うべきでない」と説きました。

至誠の人鉄舟の説得に西郷も心を打たれ討伐に逸る強硬派を押さえて、三月一三・一四の両日江戸薩摩藩邸で西郷・勝海舟・鉄舟の三者で江戸城開城などについて会談をもちました。

官軍はこの会談後、四月一日江戸城に「無血入城」し百万都市江戸は戦火を免れました。

西郷は後に鉄舟を評し「命もいらぬ。名もいらぬ。金も名誉もいらぬ。このような始末に困る人ではなくて、共に国家の大業を成し遂げることは出来ない」と言い、勝は「あの際、西郷を説得して維新の鴻業を全からしむることは、

山岡ならではの出来ない業だ。回顧すれば高士山岡と叫びたくなる。簡単に山岡を評せと言うなら誠実忠愛にして、英遭豪果の人物なりと評したい。また当時、この意味からも、その人を探せば、山岡以上の人物は見当たらなかった」と述べています。

明治五年(一八七二)西郷の強い要請により鉄舟は明治天皇の侍従となり、青年天皇の教育掛りとして一〇年間お側につかえ、絶大な信頼を得て明治一五年辞任します。しかし天皇はそれを惜しまれ引き続き宮内省御用掛を務めるよう命じました。

鉄舟は幕末から明治の激動期に世界の中の日本の未来を洞察し、一身を賭した行動で国家の危機を救い、多くの有能な人材をも育成し近代日本の基礎を築きました。

明治二年七月一九日没。享年五三歳。結跏趺坐での大往生でした。二二日に行われた葬儀はあいにくの大雨にも拘わらず、会葬者五千にも及び陛下は階上より遙かに葬列を目送されたと言われています。

以上、鉄舟の人となりを書きました。表現力や紙面の制約からその生き方・業績・エピソードなどは思えませんが、最後のサムライと言われる鉄舟像を少しでもご理解いただけたら幸いです。

# 支部だより

## ◆富士支部◆

### 「沼商ふじの会」活動状況

会長 坂本 實(高一一回)

沼商ふじの会(富士支部)も発足十年を迎えることが出来ました。今後とも地域環境の変化と要望に対応して行く所存です。平成二三年度総会は、六月に実施しました。会員、来賓、一般傍聴者と共に盛況裡に終わりました。講師には木村まさ子氏(タレント木村拓哉氏母堂)をお招きし有益なお話を伺えました。

一〇月一二日、チャリティーコンサートを開催しました。「ミネハハ」さんの透明な歌声に感動の一時を共有することが出来ました。本コンサートの収益金の一部を富士市文化振興基金へ贈りました。席上



永年の貢献に対し市長より感謝状を頂き、気を新にしました。

恒例の植樹行事は天候不順等により中止を余儀なくされ、来年へ持ち越しとなりましたので参加したいと思えます。会員相互の親睦ゴルフも定着し、健康増進の目的を達しております。

さらなる活動に向けて努力してまいります。

## ◆御殿場支部◆

### 御殿場支部活動状況

勝又英男(高四回)

去年一月一九日支部総会を開催。来賓に小池同窓会会長、高田校長をお迎えし会員との懇親を深めました。総会では同窓会の現況、在校生の各分野での活躍ぶりに一心強く思いました。長年、当地区より沼商へ通学するものがほとんどない状況ですが支部会員が今後、心一つにして親睦を優先した支部活動を目指して行きます。

さて、本年最初の行事として一七回卒、藤田昌弘君の講演と同窓会を二月三日に行いました。同期の青嶋君の提案により、中国海南島の大学で日本語教師をしている彼に現在の中国を語ってもらいました。中国全土から学生が集まり、方言も多く大変な様子。日本を好きな学生に、政治抜き草の根交流。日本との考え方の違い等、国民性について話され、米国は自由、日本は大変参考になり、有意義な講演会となりました。



## ◆裾野支部◆

### 地域貢献事業の一環として

福祉事業に寄付金を贈呈

支部長 大庭 敏克(高一一回)

裾野支部は、地域貢献事業の一

環として、新たに建設された障がい者福祉施設(知的障害者の授産施設、定員五〇人規模)への什器購入代金として一五万円贈りました。

贈呈式には支部長ら役員が出席し席上、施設利用者を前に「沼津商業高校の同窓会支部が裾野市にあります。卒業生は八五〇余人いますが、支部の会員は二五〇余人ほどです。会員が出し合ったお金を贈らせていただきます。」と話し施設利用者の代表に渡され、大変喜ばれ大きな拍手をおくられました。

施設は自立した日常生活、社会生活を営むことが出来るよう、通所による就労や生産活動の機会を提供していくもので、一月に完成した施設の備品購入に充てられました。



## ◆熱海支部◆

### 地域の絆を深めて

支部長 志方日出太郎(高一二回)

昨年三月の東北震災以降、遅れておりました支部総会を本年一月本部役員及び学校長を迎え例年通り盛大に開催できました。

出席者は支部会員のうち高七回生から五七回生までの幅広い各階層の皆様が出席され、今回は初の試みとして三三回生の茶田勉さんが出演のイベントステージと毎回恒例の景品盛り沢山のビンゴゲーム大会で盛り上がりました。地域に在住の同窓生が、各方面で活躍

されており、支部総会の場は地域の絆を深めるには絶好の機会でありました。近年熱海、湯河原方面から母校への進学希望者は年々減少しておりますが、優秀な生徒が多数入学され、卒業後は地元地域の繁栄・発展のため尽力していただくことを切望いたします。本支部は名簿登録者が約三〇〇名ありますが、出席者は毎回一割程度であります。今後とも多くの会員の出席を求めてやみません。

## ◆定時制部会◆

### 定時制部会だより

部会長 久保田英夫(定高九回)

昨年三月に行われた定時制閉課記念事業には大勢の皆様にご支援頂き改めて厚く御礼申し上げます。

その後、一月に定時制部会総会を、高田校長、小池同窓会会長のご臨席を頂き開催いたしました。会則の一部改正と役員改選を行い、会長に不肖私、久保田が任に当たり副部会長四名の体制で新執行部が発足し、先ず今年四月の本部同窓会の植樹活動に参加致しました。部会は卒業生が年々減ったこともあり活動に参加頂く方も少ない現状です。活性化を図るご意見などありましたら久保田までご連絡いただければ幸いです。定時制はなくなりませんが、同窓会は定時制部会として永遠に続きます。今後ともご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

連絡先 〇五五一九七二一二三三八

# 母校の現状

## ◆教員の移動

### ●転出等

前田喜久子副校長(三島南校長)  
鈴木尚理・山崎喜之(沼西)川嶋  
誠子(富士市立)北條敏(富士宮  
東)大塚智美(熱海高事務局長)野  
中かおり(加藤学園)森田一(伊  
東商)鈴木由美(富士市立)室伏  
寛美(沼津東)  
岡田裕記・鴻野剛・上条たえ子・  
守屋信郎・室伏昭一(退職)

### ●転入等

福石康行副校長(静岡東教頭)秋  
山義博事務局長(東部特別支援)高  
木宏(伊東)松井美沙(新規採用)  
萩原宏昭(御殿場)飯嶋雄三(静  
岡中央)鴻野剛・秋山正(再任用)  
芹澤智恵子(常勤講師)長倉洋子  
(沼津東)真野聡(総合教育セン  
ター)

## ◆生徒在籍数

生徒数 六六七名  
(男二三三名 女四三四名)  
一年生 二四五名  
二年生 二〇三名  
三年生 二一九名

## ◆設置学科

●国際ビジネス科  
●会計コース  
●経営コース  
●コミュニケーションコース  
簿記や情報処理及びマーケティングの基礎・基本を身に付け各コー

スで商業の各分野をより専門性を  
深めた学習を進めます。

## ●情報ビジネス科

・システムコース  
・ネットワークコース  
・マルチメディアコース  
情報処理関係の基礎・基本を身に  
付け、国家試験合格を目指して学  
習を進めます。

## ◆主なコースと資格取得

・会計コース → 日商簿記二級  
・システムコース  
↓ 基本情報技術者試験  
↓ 応用情報技術者試験  
・ネットワークコース  
↓ ITパスポート試験

## ◆主な学校行事

四月 新入生研修会・遠足  
五月 紫旆祭(文化・体育)  
七月 インターンシップ(二年)  
一〇月 合唱コンクール  
十一月 芸術鑑賞  
一二月 修学旅行  
二月 マラソン大会

## ◆資格取得状況(二三年度卒)

●国家試験合格者  
応用情報技術者試験 五名  
基本情報技術者試験 一三名  
ITパスポート試験 三六名  
●商工会議所検定試験合格者  
簿記二級 六五名

## ●全商主催検定一級合格者

六種目合格者 三名  
五種目合格者 二〇名  
四種目合格者 三七名  
三種目合格者 四七名  
計 一〇七名(県下一)

## ◆進路状況(二三年度卒)

### ●主な進学先

▽国公立：千葉大・尾道大・都留  
文科大

▽私立：立教大・日本大・専修大  
神奈川大・神奈川工科大・関東学  
院大・名古屋商大・静岡産業大・  
静岡福祉大・高千穂大・千葉商科  
大・富士常葉大・山梨学院大

その他  
進学者は九九人で卒業生の四三  
二%を占める。また四大進学者は  
五名で進学者の三五・四%、専門  
学校五六名、五六・六%となつて  
いる。

### ●主な就職先

沼津信用金庫・三島信用金庫・南  
駿農協JA三島函南・JAあいは  
ら伊豆農協・沼津市商工会・日立  
製作所・関東自動車工業・東海旅  
客鉄道・伊豆箱根・佐川急便・ヤ  
マト運輸・トヨタレンタカー・関  
電工・ジャトコ・矢崎部品・沖電  
器工業・三菱アルミニウム・国  
産電機・共和工機・旭化成アビリ  
テイ・富士・東洋印刷・米久・山  
崎製パン・明治ケンコー・ハム・東  
海澱粉・セブンイレブン・羽野水  
産・御殿場高原ビール・裾野カン  
ツリー倶楽部・魚時

就職者は一二三名で卒業生の五  
三七%を占める。職種別では事務  
職三六・四%、サービス三〇・五%、  
技術・技能二四・六%であり、産業  
別では製造業二四・六%、サービス  
業三二・二%、その他となつている。

## 活躍する 野球部

私たち野球部は、昨年度監督に  
塩川先生を、部長に日野先生をお  
迎えして新しい指導体制で発足し  
ています。昨年八月に行われた秋  
季東部大会では、全ての力を出し  
切ることができず、自分たちの力  
の無さを痛感しました。以来、試  
合で勝利するために、オフシーズ  
ンには体力、気力、技術を向上さ  
せ、夏の大会に向け万全に仕上げ  
常にベストな状態を維持すること  
を念頭に練習に取り込んでました  
。今年は夏の選手権大会では甲  
子園出場を目指して、一戦一戦必  
勝の覚悟で頑張つて行きます。皆  
さんの応援よろしく願います。

監督 塩川 光史  
部長 日野信太郎  
副部長 木村 政彦  
コーチ 平井 翔  
主将 高木 謙



県大会入場式

活躍する在校生  
大会 記 録

運動部

平成二三年度

◆県大会出場

●陸上競技部

高校総体(五月)

走高跳

走幅跳

一〇〇m

四〇〇mH

四×一〇〇mR

橋本美沙子

青木絵里香

青木絵里香

豊長 美紀

三浦・木田・橋本・青木

選手権(七月)

走高跳

走幅跳

四×一〇〇mR

橋本美沙子

青木絵里香

三浦・木田・橋本・青木

新人戦(九月)

走高跳

一〇〇m

二〇〇m

橋本美沙子

五十嵐勇人

三浦あゆみ

●弓道部

高校総体(五月)

個人

里団体(六月)

秋季大会(一〇月)

個人

新人戦(一一月)

個人

●ホッケー部

選手権(四月)

●バドミントン部

新人戦(一〇月)

●女子バスケット部

高校総体(五月)

選抜大会(一〇月) 四回戦  
新人戦(一月) ベスト16

●男子バスケット部

選抜大会(一〇月) 二回戦

●バレー部

高校総体(六月) 三位

選手権(一一月) 準優勝

新人戦(一月) 三位

●卓球部

高校総体(五月) 団体出場

シングルス 芹澤 亮司

ダブルス 中田裕樹・相原義将

全日本ジュニア(八月)

シングルス 芹澤 亮司

新人戦(九月) 団体出場

シングルス小野聖史・芹澤亮司

◆東海大会出場

●バレー部

高校総体(六月) ベスト8

選抜大会(三月) ベスト8

●ホッケー部

高校総体(六月) 三位

団体(八月) 二位

選抜大会(一二月) 三位

東日本大会(七月) 七位

文化部

平成二三年度

◆県大会出場

●商業科実務競技会(九月)

電算機部

情報処理の部A部門

団体 優勝

個人 準優勝

個人 二等二席

個人 三等一席

個人 佳良賞

飯田 弘善

高嶋 美彦

大島 奈々

青山英里香

情報処理の部B部門

団体 三等一席

個人 佳良賞

個人 準優勝

個人 二等二席

個人 三等一席

個人 佳良賞

英文ワープロ部門

団体 三等二席

個人 佳良賞

個人 正確賞

電卓部門

団体 三等一席

個人 佳良賞

珠算部

珠算部門 三等二席

美術部

商業デザイン部の部

審査員特別賞

●吹奏楽部

吹奏楽コンクール(八月) 銀賞

アンサンブルコンテスト(一月) 三部門

●電算機部

全国高校情報処理競技会(六月) 団体 優勝

個人 準優勝

個人 三等一席

個人 佳良賞

全国高校ワープロ競技大会

団体 三等一席

個人 三等三席

個人 三等二席

個人 三等三席

全国高校珠算電卓競技大会(六月)

団体 三等二席

個人 三等三席

◆東海大会出場

実務競技会(一一月) 電算機部

情報処理の部

団体 準優勝

個人 三等二席

個人 三等四席

個人 佳良賞

珠算部

団体出場

保坂・友光・斉藤・横山

◆全国大会

●電算機部

全国高校IT選手権(七月) FE部門 団体 三位

個人 七位

IT部門 団体 三位

個人 五位

全国高校情報処理競技大会(七月) 団体 三位

個人 四位

全国高校情報処理選手権(八月) 団体 優勝(三連覇)

個人 準優勝

個人 四位

全国高校情報科学競技大会(三月) IP部門

団体 優勝(五連覇)

今井 杏・狩野 勇斗

石川 夕貴・吉尾 雅着

室伏なつみ・大島わかな

個人 優勝

個人 二位

個人 四位

SE部門

団体 準優勝

個人 五位

田中真理子

平成23年度 沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書  
平成23年4月1日-平成24年3月31日 (単位:円)

| 収入の部     |            | 支出の部     |            |
|----------|------------|----------|------------|
| 科目       | 金額         | 科目       | 金額         |
| 前年度繰越金   | 95,604,910 | 23年度育英基金 | 2,386,156  |
| 基金会計より繰入 | 281,314    | 次年度繰越    | 94,178,506 |
| 23年度期間収益 | 678,438    |          |            |
| 合計       | 96,564,662 | 合計       | 96,564,662 |

平成23年度 沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書  
平成23年4月1日-平成24年3月31日 (単位:円)

| 収入の部        |            | 支出の部        |            |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 科目          | 金額         | 科目          | 金額         |
| 前年度繰越金      | 32,875,564 | 平成23年度奨学金交  | 1,000,000  |
| 奨学金返済       | 2,893,826  | 平成23年度申込手数料 | 1,680      |
| 奨励金         | 358,400    | 平成23年度繰越金   | 35,626,381 |
| 普通送金利息(入/出) | 237        |             |            |
| 普通預金利息(出/入) | 34         |             |            |
| 後援会費付返済     | 500,000    |             |            |
| 合計          | 36,628,061 | 合計          | 36,628,061 |

平成23年度 沼津商業高等学校同窓会育英基金決算報告書  
平成23年4月1日-平成24年3月31日 (単位:円)

| 収入の部     |           | 支出の部    |           |
|----------|-----------|---------|-----------|
| 科目       | 金額        | 科目      | 金額        |
| 同窓会より奨学金 | 1,500,000 | 在校生給付金  | 1,500,000 |
| 同窓会より助成金 | 1,000,000 | 学校助成金   | 859,848   |
| 利息       | 85        | 雑費      | 23,038    |
|          |           | 寄附金     | 117,199   |
|          |           | 育英基金へ繰越 |           |
| 合計       | 2,500,085 | 合計      | 2,500,085 |

平成23年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算書  
平成23年4月1日-平成24年3月31日 (単位:円)

| 収入の部   |           | 支出の部   |           |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 科目     | 金額        | 科目     | 金額        |
| 前期繰越金  | 1,179,907 | 会報発行費  | 1,728,364 |
| 年会費収入  | 2,587,500 | 支払手数料  | 117,700   |
| 入会金    | 1,145,000 | 印刷代    | 55,125    |
| 名簿売上金  | 229,000   | 名簿作成費  | 160,671   |
| 役員会会費  | 540,000   | 総会費    | 35,000    |
| 記念誌賛助金 | 1,000     | 事務消耗品費 | 144,061   |
| 受取利息   | 119       | 通信費    | 95,019    |
| 手数料収入  | 13,664    | 会議費    | 986,776   |
|        |           | 人件費    | 737,250   |
|        |           | 記念品代   | 68,250    |
|        |           | 支部助成金  | 210,000   |
|        |           | 慶弔見舞金  | 280,975   |
|        |           | 旅費     | 81,890    |
|        |           | 諸経費    | 20,733    |
|        |           | 次期繰越金  | 974,370   |
| 合計     | 5,696,190 | 合計     | 5,696,190 |

平成二三年度決算報告

今年も二二九名が新会員に

平成二四年三月、男子卒業生六四名、女子卒業生一六五名の二二九名が新会員として登録されました。

- 今期の新しい役員です
- 名誉顧問 持田正与司 (高八回)
- 顧問 大川 徳雄 (四九二回)
- 大嶋 淑嗣 (四九二回)
- 金刺 実雄 (高五回)
- 水上 博道 (高六回)
- 小池 忠雄 (定高八回)
- 高田 道雄 (学校長)
- 藤本 泰三 (高八回)
- 廣瀬 忠男 (定高九)
- 小林昭太郎 (定高二回)
- 福石 康行 (副校長)
- 福玉 一淑 (教頭)
- 秋山 義博 (事務長)
- 宇佐美文男 (高一五回)
- 瀬川裕市郎 (高一〇回)
- 坂倉 安藤 (高一二回)
- 杉山 勝 (高一五回)
- 岩崎 正幸 (高一六回)
- 岩崎 英亮 (高一七回)
- 川口 公文 (高一八回)
- 廣瀬進一郎 (高一九回)
- 遠藤 等 (高一二回)
- 鴻野 剛 (高二二回)
- 大石 平 (定高二七回)
- 諏訪部善枝 (高一五回)
- 太田きく江 (高一六回)
- 加藤 敏子 (高一八回)
- 佐野 友子 (高一九回)
- 中島 恵子 (高二二回)
- 田村 公子 (高二八回)
- 植松 勝一 (高一二回)
- 鈴木 幸雄 (高一三回)
- 理事 赤井 国彦 (高二三回)
- 事務局長 笹村美紀子 (高二三回)
- 六〇回総会・懇親会幹事
- 会計監査

今年度の春の叙勲で三人の会員が叙勲を受けました

同窓会監査役の植松勝一さん(沼津市・一二回生)が、事務行政事務で、生活衛生功労者として七回生の杉山穎さん(沼津市)が、さらに社会福祉で功労のあった同じ七回生の菅沼敏男さん(熱海市)がそれぞれ叙勲されました。いまでも一回生の諏訪部恭一さん(沼津市)など何人かの会員が、それぞれの業績を認められ叙勲されています。おめでとうございます。

柴田瑞帆さん(高六四回)、「燦々ぬまづ大賞」を受賞

柴田さんは「東京モーターサイクルショー」の学生ポスターデザインコンテストで高校生初の最優秀賞を受賞し、「モーターサイクル

同窓会館の耐震工事が完成

予想される東南南海地震などに備えるため、同窓会館「九子の杜」の耐震工事が実施され、三月に完成しました。



今年も植樹祭で奉仕活動

四月二九日、柿田川の涵養林を保全するため例年通り裾野市須山の浅木塚国有林で参加しました。今年も晴天に恵まれ同窓会長、学校長、教員、現役生徒など三四名の沼商関係者が参加し、合わせて沼商のPRもしてきました。来年も計画しますので多数のみなさんの参加を希望します。

奨学金と育英資金

今年も在校生一五人に奨学金を支給し、二名に育英資金を貸与しました。

同窓会へのご連絡お問い合わせは...

電話・ファックス兼用

〇五五・九三一・五七四七

(土・日・祝日を除く月々金の)

午前十一時〜午後三時まで

第八回沼商OB美術展開催

第八回沼商OB美術展が例年の通り六月七日(水)〜十三日(木)まで、沼津市大手町しずぎんギャラリー「四季」で行われ、今年もOBの作品五九点が展覧された。来年は、見学者で賑わいました。来年は、六月六日(木)〜二日(水)の予定です。

ショーを燦々引き立てたで賞」を受賞しました。また沼津市から沼津を全国に向けてPRし、知名度向上や、話題づくりに貢献した人を選ばれ、「さきさん大賞」が贈られました。